

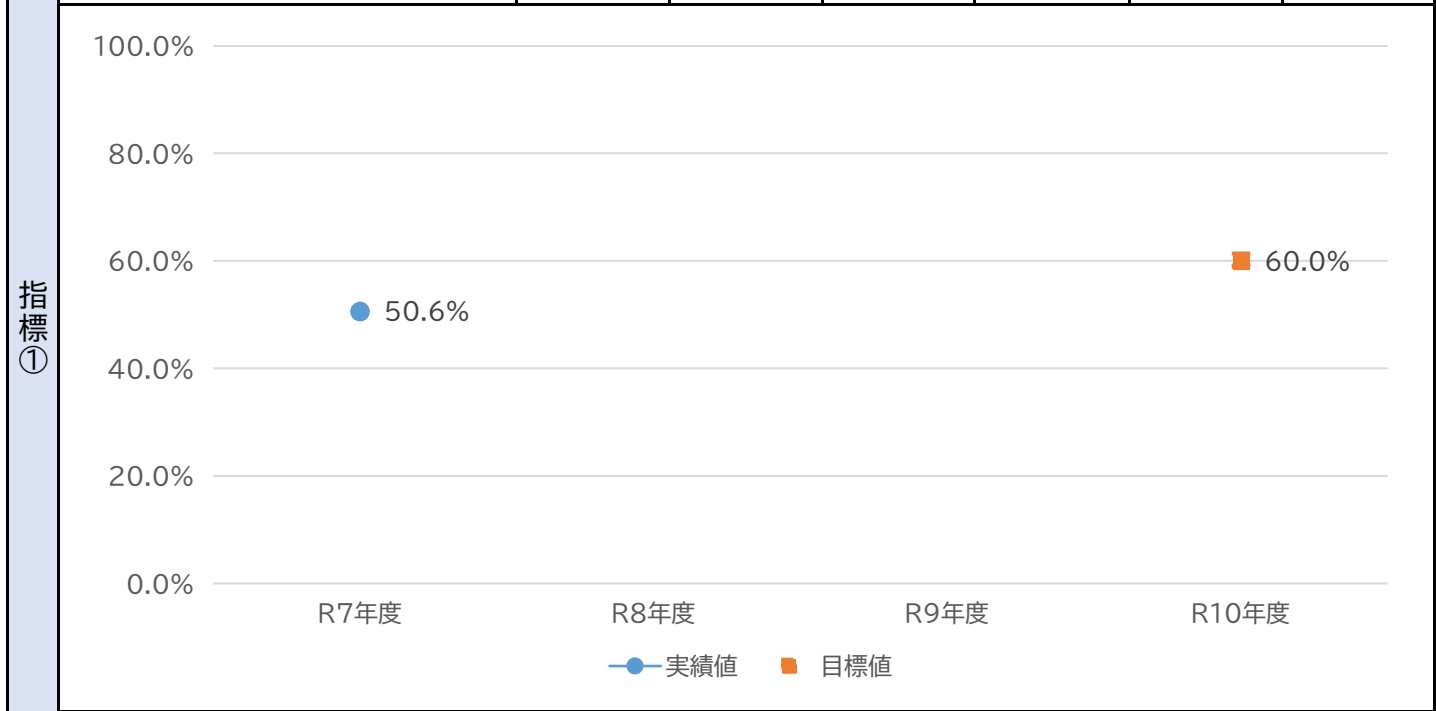
令和8年度 施策評価シート《佐賀市未来共創プラン》

政 策		03 文化・スポーツ	心豊かに夢と誇りを未来につなぐまち			
文化やスポーツは、わたしたちを夢中にさせ、暮らしに潤いを与えてくれます。そして、文化やスポーツが生活の一部にあることで、それぞれの夢や誇りにつながります。 これまで培ってきた伝統に新しい風を取り入れながら、文化やスポーツを未来につないでいく。そうすることで、いつまでもワクワクがたくさんあり、心豊かに暮らせるまちを目指します。						
2040年に目指す市民等の姿《総合計画》						
1 市民は、する・みる・ささえるのさまざまな関わり方でスポーツを楽しんでいる。 2 市民は、歴史や風土に育まれた文化を大切にしながら、新たな文化の創造に取り組み、心豊かに暮らしている。						
重点ポイント			目指す姿や重点ポイントと現状のギャップ			
・自分らしくスポーツと関われること ・プロスポーツチームのホームタウンである強みを生かすこと ・市民が文化を身近に感じるとともに、新たな文化が創造されていること			・自分に合った形でスポーツに接することができる機会が十分でない。 ・プロスポーツチームや選手等との交流が不足している。 ・歴史や文化を継承する人材が不足している。			
政策のゴール	「する」「みる」「ささえる」のいずれかでスポーツに関わった市民の割合	基準値 R 5 年度	目標値 R 1 0 年度	実績値		
		50.0%	84.0%	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度
政策のゴール	歴史・文化活動に関わった市民の割合	基準値 R 5 年度	目標値 R 1 0 年度	実績値		
		54.6%	75.0%	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度

施 策	03-1 する・みる・ささえるスポーツの推進	施策統括責任課	スポーツ振興課
関係課	スポーツ振興課		
重点的に取り組む施策の方向性			
・年齢や国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが「する」、「みる」、「ささえる」のさまざまな関わり方で日常的にスポーツを楽しむ環境づくりやきっかけづくりを行います。			
《総合評価》総括と今後の主な取組			
●施策の成果指標である「『する』『みる』『ささえる』のいずれかでスポーツに関わった市民の割合」は34.9%であり、令和10年度の目標値84.0%を大きく下回っている。 重点的に取り組む事業である佐賀バルーンズとの連携、市スポーツ推進委員協議会活動の支援、さが桜マラソンの運営、少年スポーツ指導者の育成及び総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援については、来場者数や参加者数の増加、指導者資格取得者やクラブ会員数の増加など、各事業において成果を上げており、施策の推進に一定の効果を上げている。また、スポーツ施設の管理運営については、施設利用者数が目標を大きく上回っており、市民がスポーツに親しむ機会の確保に寄与している。さらに、公益財団法人佐賀市スポーツ協会との連携については、成果指標である「日常的に（週1回以上）スポーツをしている市民の割合」は、目標を下回ってはいるものの、協会主催事業への参加者数は増加しており、スポーツ実施率の維持・向上には一定の効果が認められる。 上記のとおり、個別事業では成果が見られるものの、施策全体の成果指標である「『する』『みる』『ささえる』のいずれかでスポーツに関わった市民の割合」は目標を大きく下回っており、事業成果が施策全体の成果に十分結び付いていないことが課題である。 以上を踏まえ、今後の主な取組は次のとおりとする。 ・スポーツイベントやニュースポーツ教室、プロスポーツチームとの連携など、市民がスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、若年層や働く世代など参加が少ない層への効果的な情報発信や参加促進に取り組む。 ・スポーツ施設の適切な管理運営及び施設維持に努め、安全で快適なスポーツ利用環境の充実を図る。 ・個別事業では一定の成果が見られる一方、施策の成果指標は目標を下回っていることから、各事業の実施効果を検証し、必要に応じて事業の見直しや、やり方改善を行う必要がある。			
年度別 主な取組内容			
R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度
●スポーツ推進委員協議会活動の支援 6,182千円（各校区開催ニュースポーツ教室参加者数 延べ9,071人） ●小中学生各種スポーツ大会等出場激励金の支給 5,946千円（支給件数134件） ●さが桜マラソン大会の運営 28,709千円（出走者数10,152人） ●市スポーツ協会の運営補助 42,934千円（協会主催事業等参加者数 延べ5,276人） ●スポーツ合宿・キャンプ等の誘致、受入 4,537千円（受入件数12件） ●プロスポーツチームとの連携 110,070千円（事業参加者数 延べ4,118人） ●スポーツ施設の管理運営 356,273千円（利用者数 延べ841,900人） ●スポーツ施設の照明LED化 2,342千円 ●健康運動センターサッカー・ラグビー場の改修（人工芝改修、照明LED化） 194,263千円			

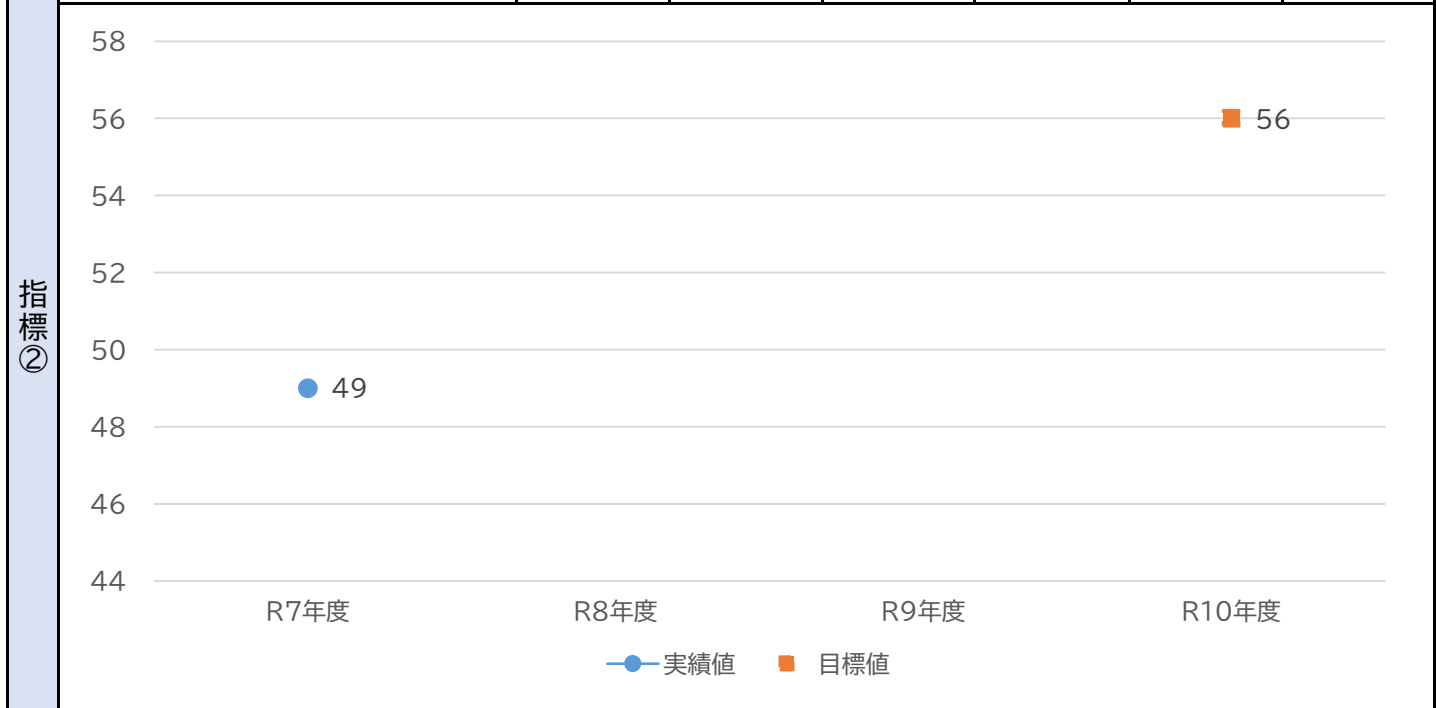
成果指標	
------	--

週1回以上運動・スポーツをしている市民の割合	基準値	目標値	実績値			
	R5年度	R10年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	54.5%	60.0%	50.6%			

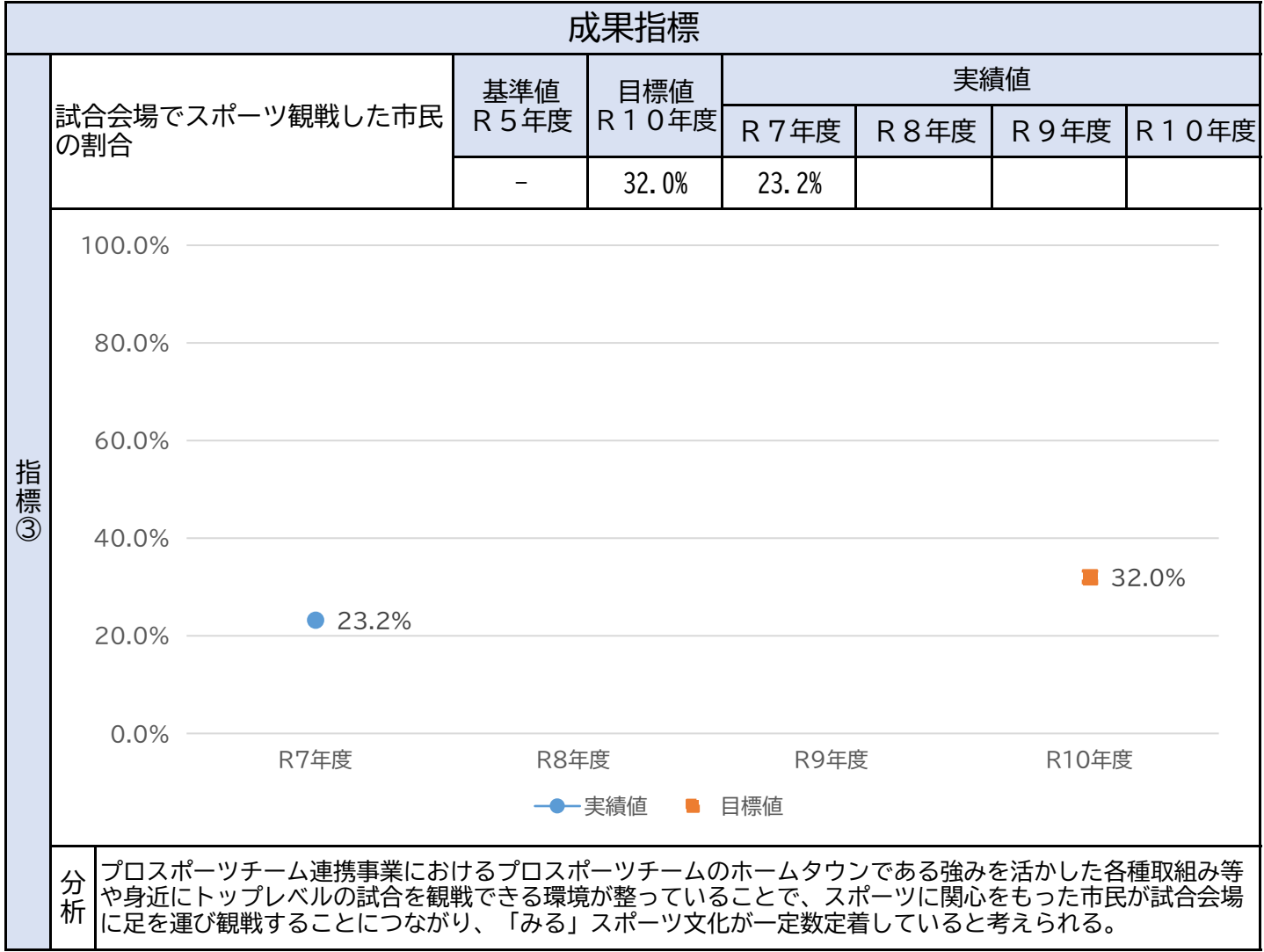


分析	「週1回以上運動・スポーツをしている市民の割合」は50.6%となり、令和5年度の基準値54.5%を下回っていることから、令和10年度の目標値60.0%の達成に向け、スポーツに親しむ機会のさらなる充実を図る必要がある
----	---

中学生受入れ可能な社会体育クラブ数	基準値	目標値	実績値			
	R 5年度	R 10年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度
	-	56	49			



分析	成果指標である「中学生受け入れ可能な社会体育クラブ数」は令和7年度に49団体となり、令和10年度の目標値56団体に向けて一定の進捗が見られる。今後も部活動の地域展開を見据え、中学生の受け皿確保を進める必要がある。
----	--



重点的に取り組む事業 ①

こどものスポーツ推進

成果

【プロスポーツチーム連携事業】3つのプロスポーツチームと連携して、市内の未就学児から中学生を対象に、体を動かすことを楽しむプログラムや競技クリニック等で選手等と直接ふれあう機会を創出し、スポーツへの興味関心を高めたり、競技に取り組む意欲の向上を図った。また、市内の小中学生を各チームのホームゲームに観戦招待して、「みる」スポーツの推進を図った。(連携事業実施済 小学校21校/35校、中学校14校/18校)

【スポーツ少年団育成経費】スポーツを通じて心身ともに健康な青少年の育成を図るため、スポーツ少年団の登録推進や団員募集・競技普及を目的とした体験会を実施し、延べ57人が参加した。その結果、令和7年度の登録数は、45団体801人、前年度(46団体856人)と比較し、団体数は1団体、団員数は55人減少した。

問題点とその要因

【プロスポーツチーム連携事業】プロスポーツチームとの連携により、こどもがスポーツに興味・関心を持つ機会は確保されているものの、継続的なスポーツ活動につながっていない。その要因として、こどもたちの日常にスポーツを気軽に行うことができる場所が確保されていないなどが考えられる。

【スポーツ少年団育成経費】スポーツ少年団の登録団数及び団員数は、令和6年度から減少しており、スポーツ少年団への加入促進が課題となっている。要因として、こどもの活動やニーズが多様化する中、スポーツ少年団の活動内容や魅力が、クラブに十分伝わっていないことが要因の一つと考えられる。

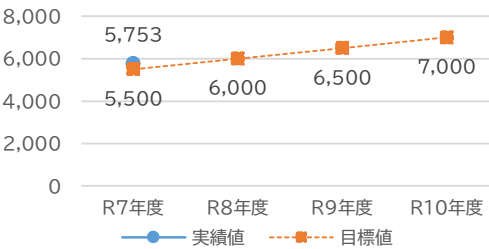
今後の取組方針

【プロスポーツチーム連携事業】令和8年度に小学校2校にチームとのコラボバスケットゴールの設置、どんどんの森ふれあい広場へのコラボバスケットコート整備を予定しており、こどもたちが気軽にスポーツに取り組むことができる環境整備を進めていく。

また、令和9年度以降も公園へのコート整備や小学校へのゴール設置を検討するとともに、プロスポーツチームの選手やマスコット等との交流の機会を継続して創出することで、スポーツを楽しむきっかけ作りやこどもたちの夢の後押しをクラブと共に実施していく。

【スポーツ少年団育成経費】競技団体等と連携し、体験会等を活用してスポーツ少年団の活動内容や魅力を積極的に発信するとともに、未登録クラブへの働きかけを行い、新規登録の促進を図る。

主な重点取組事業

1	事業名		佐賀バルナーズ連携事業			
	担当課		スポーツ振興課	事業期間	令和 3 年度	令和 年度
	事業概要・目的		令和元年8月に締結した連携協定に基づき、市とクラブが相互に連携し、選手等と直接ふれあう機会の提供等を通じて、市民のスポーツへの興味関心を高め、「する」「みる」「ささえる」スポーツへの様々な関わりを促進し、スポーツ文化の裾野拡大を図るとともに、プロスポーツチームの集客力等による交流人口の拡大とまちの賑わい創出を図る。			
	該当年度取組実績		親子ふれあいスポーツ教室：母親・父親延べ138人、こども125人参加 中学生に向けて選手が夢について語る授業：中学生321人参加(3校)、 保育施設等へのコラボバスケットゴール贈呈：15園 選手等による巡回スクール：未就学児・小学生(6園・2校)261人参加、			
	成果	指標	平均入場者数			単位 人
		年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度
		目標値	5,500	6,000	6,500	7,000
		実績値	5,753			
		達成状況	達成している			
	決算額	年度	346612年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度
		総事業費	28,724千円			
		うち市費	619千円			
	(※職員人件費は含まない) (千円)					
	 					

重点的に取り組む事業 ②

地域のスポーツ活動の推進

成果	
----	--

【スポーツ推進委員協議会活動経費】地域のスポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員相互の連携強化や資質向上を図るとともに、スポーツ推進委員協議会の活動を支援した。その結果、各校区で開催したニュースポーツ教室には、延べ9,071人が参加し、市民が身近な地域でスポーツに親しむ機会の創出につながった。

【スポーツきっかけづくり推進事業】一般貸出用のニュースポーツ用品の充実を図るとともに、ニュースポーツ用品の貸出しや出前講座でのニュースポーツ教室を開催した。その結果、ニュースポーツ用品の貸出件数は、2,459件、ニュースポーツ教室の参加者数は329人となったが、前年度と比較すると貸出件数は725件、参加者数は75人減少した。

[illegible]

【スポーツ推進委員協議会活動経費】地域のスポーツ活動に関し、参加者が固定化しており、裾野の拡大について課題がある。要因として、ニュースポーツ教室の内容や実施方法等が固定化していることが一因として考えられる。

【スポーツきっかけづくり推進事業】ニュースポーツに親しむ機会は一定程度確保できているものの、新たな利用者の獲得や継続的な利用につながっていないことが課題である。要因として、出前講座や用品貸出制度の内容が十分に周知されていないことに加え、出前講座参加後や用品貸出後の継続的な利用へつなげる働きかけが十分でないことなどが考えられる。

今後の取組方針

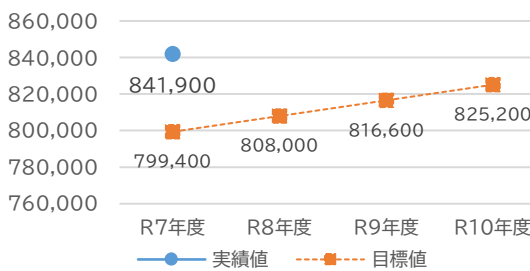
【スポーツ推進委員協議会活動経費】新たな参加者の獲得につなげるため、対象者や地域の状況に応じて、実施方法を工夫し、これまで参加機会の少なかった市民が参加しやすい取組を進める。

【スポーツきっかけづくり推進事業】出前講座や用品貸出制度の利用促進を図るため、効果的な広報を行うとともに、出前講座参加者へ用品貸出制度を案内するなど、継続的な利用につながる取組を進める。

主な重点取組事業

1

事業名		スポーツ推進委員協議会活動推進経費																								
担当課		スポーツ振興課			事業期間		昭和 40 年度 ～ 年度																			
事業概要・目的		地域におけるスポーツ活動の推進を図るため、市が実施する各種大会等への協力やニュースポーツの普及活動を行うスポーツ推進委員の活動に要する経費を措置するとともに、専門委員会の開催や研修会への参加を通じてスポーツ推進委員の資質向上を図る。																								
該当年度取組実績		定例研修会、各専門委員会（総務、事業、研修）、理事会、研究大会等の開催 地域イベント、多団体イベントでのニュースポーツ指導の実施 市まなざしスポーツ・レクリエーション祭の開催																								
成果	指標	各校区開催ニュースポーツ教室参加者数				単位	人				<table><caption>実績値と目標値の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7年度</td><td>9,071</td><td>9,050</td></tr><tr><td>R8年度</td><td></td><td>9,100</td></tr><tr><td>R9年度</td><td></td><td>9,150</td></tr><tr><td>R10年度</td><td></td><td>9,200</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	R7年度	9,071	9,050	R8年度		9,100	R9年度		9,150	R10年度		9,200
	年度	実績値	目標値																							
	R7年度	9,071	9,050																							
	R8年度		9,100																							
	R9年度		9,150																							
R10年度		9,200																								
年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																						
目標値	9,050	9,100	9,150	9,200																						
実績値	9,071																									
達成状況	達成している																									
決算額	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																					
	総事業費	6,182千円																								
	うち市費	6,182千円																								
	(※職員人件費は含まない) (千円)																									

重点的に取り組む事業 ③										
多様な「する」スポーツの環境整備										
成果										
【スポーツ施設管理運営事業】市有スポーツ施設の管理運営を直営及び指定管理によって行い、各種スポーツ大会等の円滑な利用調整、グラウンド整備等、施設の適正な管理・運営を行った。また、老朽化した施設・設備の改修修繕を行い、市民が安心してスポーツができる場を提供し、令和7年度は前年度と比較し49,118人の利用者増となった。 【スポーツ交流施設整備支援事業】スポーツ活動等による市民の交流促進や街の賑わい創出等を目的としたスポーツ交流施設の整備を支援するため、建設用地を取得し、護岸整備に着手した他、株式会社佐賀バルナーズに対して施設整備経費に補助金を交付し、空調設備のある屋内体育施設の整備に着手させた。										
問題点とその要因										
【スポーツ施設管理運営事業】年間の利用者は増えているが、一部の施設では利用者が減少している。要因としては多くの施設が整備後30年以上経過していることに加え、人口減少や少子高齢化、スポーツニーズの多様化など社会環境の変化により、従来の施設機能や配置では市民ニーズへの対応が難しくなっているためと考える。また、8～9月の利用者数が減少している屋内体育施設がある。要因としては空調設備の整備が進んでおらず、暑さのため利用を控えているためと考えられる。										
今後の取組方針										
【スポーツ施設管理運営事業】現施設の適切な維持管理を行う。また、施設の適正配置や必要な機能を検討するとともに、老朽化した施設の計画的な改修・更新を進め、多様化するスポーツニーズを踏まえ、ユニバーサルデザインや空調設備など利用者の安全性・快適性の向上につながる機能整備を推進する。あわせて、学校体育施設や県有施設、民間施設との役割分担や連携を図りながら、持続可能なスポーツ施設の整備・運営を進める。 【スポーツ交流施設整備支援事業】佐賀バルナーズが整備するスポーツ交流施設整備経費に対して補助金を交付し、空調設備のある屋内体育施設の整備を支援することで「する」スポーツの環境を拡充する。										
主な重点取組事業										
1	事業名		スポーツ施設管理運営事業							
	担当課		スポーツ振興課		事業期間		昭和 46 年度 ～ 令和 年度			
	事業概要・目的		市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている社会を目指して、利用しやすい安全・安心・快適なスポーツ環境を提供する。							
	該当年度取組実績		【主な工事・修繕】 ・大和勤労者体育センター照明改修工事 ・富士しゃくなげ湖水上競技場 リギング広場横旧道コンクリート舗装工事 ・佐賀市健康運動センター温水配管修繕							
	成果	指標	利用者数			単位	人			
		年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度				
		目標値	799,400	808,000	816,600	825,200				
		実績値	841,900							
		達成状況	達成している							
	決算額	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度				
		総事業費	356,273千円							
		うち市費	346,612千円							
		(※職員人件費は含まない) (千円)								

重点的に取り組む事業 ④

スポーツ大会やイベントの開催

成果	
----	--

【さが桜マラソン大会開催経費】コース沿道の応援者を増やし、ランナーの満足度を高めることで、ランナーに選ばれる大会とするため、各種媒体を活用した広報やボランティアの募集を行った。その結果、約2,400人のボランティアが大会運営を支え、多くの市民による沿道での応援が行われるなど、大会を盛り上げる機運の醸成につながった。

【スポーツ合宿推進事業】佐賀県と連携して世界水泳カナダ代表選手団のキャンプを受入れ、公開練習や選手との交流会がSAGAアクアで開催され、市内外から1,000人を超える見学者が集まった。

問題点とその要因

【さが桜マラソン大会開催経費】金立・久保泉地区では、市街地と比較して沿道の応援者が少なく、ランナーへの声援や大会の盛り上がりが十分でないことが課題である。要因として、沿道周辺に住宅が少ないため、市街地と比べて地域住民による応援が集まりにくいことに加え、長時間の活動となることからボランティアの配置希望が少ないことが考えられる。

【スポーツ合宿推進事業】約1,800人の観客を収容可能なSAGAアクアに、パリ五輪金メダリストが来佐するという注目度の高いキャンプを県と連携して受入れたが、イベントの情報発信のタイミングや手法等が限定的だったため、来場につながる効果的な情報発信が十分ではなかった。

今後の取組方針

【さが桜マラソン大会開催経費】企業やグループ、大学生等がボランティアに参加しやすい環境づくりや特典の充実により参加者を増やすとともに、応援が少ないエリアへ重点的に人員を配置することで、多くの市民が

【スポーツ合宿推進事業】佐賀県との連携強化および役割分担のもと、効果的な情報発信とイベント周知を実施することで、市民がトップレベルのスポーツを「みる」機会の充実を図り、スポーツ観戦者の拡大につなげる。

主な重点取組事業	
-----------------	--

事業名	さが桜マラソン大会開催経費
-----	---------------

1

担当課		スポーツ振興課			事業期間		平成 24 年度 ～ 令和 年度																		
事業概要・目的		さが桜マラソンを開催することにより、多くの市民にスポーツをする（ランナー）、みる（応援）、ささえる（ボランティア）活動への参画を推進し、スポーツを通じて、市民一人ひとりの心身の健康づくりや交流、生きがいを促進し、幸福を実感しながら自分らしく充実した生活を送ることができるウェルビーイングの向上を目指す。																							
該当年度取組実績		【佐賀市のおもてなし】 ・沿道応援イベント（熱気球係留、吹奏楽部による演奏、浮立、和太鼓、ダンス）9団体 ・ランナーへ佐賀市の特産品でおもてなし、お楽しみ抽選会の実施 3,607回転 ・ヤマザクラ苗木配布 250本 ・桜マラソンコースの花いっぱいプロジェクト 6団体 800苗（195プランター） ・選手、観桜客向けの案内所として桜ステーションを設置 対応件数：約200件 ・ランナーズナイト（前夜祭） 参加者数：約1,000人 ・ラッピングバスの運行																							
成果	指標	マラソン大会出走者数				単位	人		<table><caption>マラソン大会出走者数実績と目標</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7年度</td><td>10,152</td><td>10,000</td></tr><tr><td>R8年度</td><td></td><td>10,000</td></tr><tr><td>R9年度</td><td></td><td>10,000</td></tr><tr><td>R10年度</td><td></td><td>10,000</td></tr></tbody></table>		年度	実績値	目標値	R7年度	10,152	10,000	R8年度		10,000	R9年度		10,000	R10年度		10,000
	年度	実績値	目標値																						
	R7年度	10,152	10,000																						
	R8年度		10,000																						
	R9年度		10,000																						
R10年度		10,000																							
年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																					
目標値	10,000	10,000	10,000	10,000																					
実績値	10,152																								
達成状況	達成している																								
決算額	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	<table><caption>マラソン大会出走者数実績と目標</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7年度</td><td>10,152</td><td>10,000</td></tr><tr><td>R8年度</td><td></td><td>10,000</td></tr><tr><td>R9年度</td><td></td><td>10,000</td></tr><tr><td>R10年度</td><td></td><td>10,000</td></tr></tbody></table>			年度	実績値	目標値	R7年度	10,152	10,000	R8年度		10,000	R9年度		10,000	R10年度		10,000		
	年度	実績値	目標値																						
	R7年度	10,152	10,000																						
	R8年度		10,000																						
R9年度		10,000																							
R10年度		10,000																							
総事業費	28,709千円																								
うち市費	24,862千円																								
(※職員人件費は含まない) (千円)																									

重点的に取り組む事業 ⑤

プロスポーツチームとの連携・活用

成果

【佐賀ブルーナース連携事業】クラブと連携した広報による市民の応援機運醸成、市民と選手等との交流創出でクラブへの興味関心を高めたほか、割引チケット販売や市民観戦招待等を実施した。その結果、SAGAアリーナでのホームゲーム平均入場者数は昨シーズン比7.1%増の5,753人となった。

【SAGA久光スプリングス連携事業】街なか装飾で市民がクラブを目にする機会を増やして応援機運醸成を図ったほか、ゲームスポンサー協賛時に市民220人を観戦招待した。その結果、SAGAアリーナ平均入場者数は昨シーズン比31.6%増の3,454人となった。

【サガントス交流宣言事業】選手等との交流創出で興味関心を高めたほか、ゲームスポンサー協賛時に市民100人と小中学生親子160組320人の計420人（昨年度市民100名招待のみ）を観戦招待した。

問題点とその要因

プロスポーツチームの入場者数は順調に伸びているものの、施策指標である「試合会場でスポーツ観戦した市民の割合（23.2%）」が昨年度から減少している。この要因としては、入場者数の増加は「観戦リピーター」や「市外からの観戦者」の増加が牽引している可能性があり、まだ観戦したことのない「新たな佐賀市民」を会場へ足を運ばせる（新規ファンを獲得する）アプローチが不足していると考えられる。

今後の取組方針

新規ファンを獲得に向けて、引き続き、プロスポーツチームと連携し、市民との交流活動を通じてチームを身近に感じ、関心を高め、市民の観戦・応援意欲が高まるよう取り組んでいく。

特に佐賀バルナーズについては、令和8年9月にBプレミアが開幕し、全国的にバスケットボールが脚光を浴びることが予想される。開幕に合わせて、街なか装飾や情報発信を強化してクラブの露出を増やし、関心を高めて応援機運を醸成するとともに、ファンクラブ新規入会を促進する取組やクラブ応援強化月間イベント支援、パブリックビューイング開催等で観戦リピーターの拡大を図る。

主な重点取組事業

1

事業名		佐賀バルナーズ連携事業				
担当課		スポーツ振興課		事業期間	令和 3 年度 ～ 令和 4 年度	
事業概要・目的		令和元年8月に締結した連携協定に基づき、市とクラブが相互に連携し、選手等と直接ふれあう機会の提供等を通じて、市民のスポーツへの興味関心を高め、「する」「みる」「ささえる」スポーツへの様々な関わりを促進し、スポーツ文化の裾野拡大を図るとともに、プロスポーツチームの集客力等による交流人口の拡大とまちの賑わい創出を図る。				
該当年度取組実績		佐賀市マッチスポンサー協賛試合（2試合）、ホームタウン連携広報（まるわかりガイド作成・全戸配布、テレビCM、サンライズストリートへのバナーフラッグ掲出と地上機器へのラッピング装飾、ラッピングバス運行等）、地域活動促進事業、市民等観戦招待（523人）、値引きチケット販売等（1,037枚）、出張スポーツ教室（5回）、スポGOMI佐賀市大会開催（10チーム、38人）、ホームゲーム活用イベント（参加者：バスケ体験106人、婚活イベント38人）				
成果	指標	平均入場者数			単位	人
	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	
	目標値	5,500	6,000	6,500	7,000	
	実績値	5,753				
	達成状況	達成している				
決算額	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	
	総事業費	28,724千円				
	うち市費	619千円				
	(※職員人件費は含まない) (千円)					

年度	実績値	目標値
R7年度	5,753	5,500
R8年度		6,000
R9年度		6,500
R10年度		7,000

重点的に取り組む事業 ⑥

スポーツを支える人材・団体の育成・支援

成果

【公益財団法人佐賀市スポーツ協会との連携経費】市スポーツ協会に補助金を交付し、組織の充実・強化を図った。その結果、同協会ではスポーツ大会等を8回、スポーツ教室・体験会等を14種類・計111回実施し、延べ5,276人が参加するなど、市民がスポーツに親しむ機会の充実につながった。

【さが桜マラソン大会開催経費】今年度から新たに企業グループボランティアを募集し、4企業138人の参加があった。その結果、大会ボランティア数は前回大会の2,220人から2,370人へ150人増加したが、目標である3,000人には達しなかった。

問題点とその要因

【公益財団法人佐賀市スポーツ協会との連携経費】スポーツ大会やスポーツ教室等を通じて市民がスポーツに親しむ機会は確保されているものの、より多くの市民が「継続的」にスポーツに親しむための取組の充実が必要である。この要因としては、各種大会や教室への参加が単発に留まりやすく、継続的な活動へと定着させるための仕組みや働きかけが十分に図られていないことが考えられる。

【さが桜マラソン大会開催経費】大会ボランティア数は増加しているものの、目標としている3,000人には達しておらず、特に長時間の従事となるエリアではボランティアの確保が課題となっている。要因として、コロナ禍により2020大会は中止、2021大会はオンライン開催となり、2年間ボランティアの募集を行わなかったため、コロナ禍以前に参加していたボランティアが戻ってきていないことが考えられる。また、長時間の従事となるエリアの応募者が年々減少していることも一因と考えられる

今後の取組方針

【公益財団法人佐賀市スポーツ協会との連携経費】市民ニーズを踏まえたスポーツ大会やスポーツ教室等の充実を図り、市民が継続してスポーツに親しむ機会の充実に取り組む。

【さが桜マラソン大会開催経費】ボランティアの負担軽減に向けた配置・シフトの見直しや企業がボランティア活動中にPRできる特典の拡充により十分な人員を確保し、市民や企業が『ささえる』スポーツとして積極的に参画し、地域全体でおもてなしと大会を盛り上げる機運を高める。

主な重点取組事業

1

事業名		公益財団法人佐賀市スポーツ協会との連携経費				
担当課		スポーツ振興課		事業期間	昭和 40 年度 ～ 令和 年度	
事業概要・目的		公益財団法人佐賀市スポーツ協会（市スポ協）は、校区スポ協（体協）や競技団体の育成、選手の強化、大会主催等の事業を通し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、市民の健全な心身の発達に取り組む団体である。市スポ協に補助金を交付することにより、スポ協と連携したスポーツの健全な普及・発展を推進する。				
該当年度取組実績		・スポーツ大会の実施（わんぱくすもう大会、卓球大会、テニス大会） ・各種スポーツ教室の実施（ジョギング、テニス、サッカー等） ・佐賀市との共催事業（市民スポーツ大会、体力テスト等） ・校区体協事業への補助（29校区スポ協及び体協） ・加盟競技団体への補助育成（23競技団体）				計401人 計427人 計3,820人
成果	指標	日常的に（週1回以上）スポーツをしている市民の割合			単位	%
	年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	
	目標値	57	58	59	60	
	実績値	50.6				
	達成状況	達成できていない				
決算額	年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	
	総事業費	42,934千円				
	うち市費	42,934千円				
		（※職員人件費は含まない）（千円）				

65.0

60.0

55.0

50.0

45.0

57

58

59

60

50.6

R 7 年度

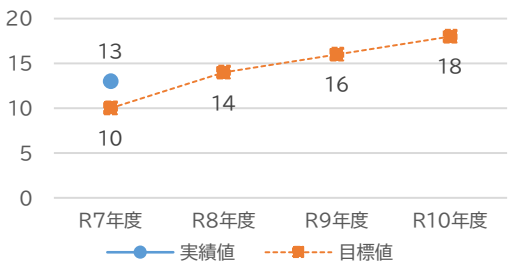
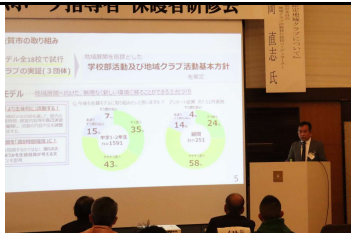
R 8 年度

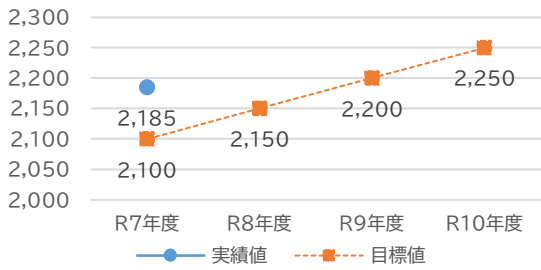
R 9 年度

R 10 年度

実績値

目標値

重点的に取り組む事業 ⑦										
スポーツ指導者等の資質向上										
成果										
【スポーツ指導者育成経費】所定のスポーツ指導者資格を取得する少年スポーツ指導者に対し、資格取得費補助金を交付した。その結果、令和7年度の資格取得者は13人となり、前年度の6人と比較して、7人増加した。 【スポーツ少年団育成経費】少年スポーツの指導者や保護者を対象とした研修会を開催した。令和7年度の参加者は22人で、前年度の30人から減少したものの、参加者の適切な指導や安全管理に対する理解を深めることができた。										
問題点とその要因										
【スポーツ指導者育成経費】部活動の地域展開を見据え、地域で活動するスポーツ指導者のさらなる確保・育成が課題である。要因として、指導者資格の取得には一定の時間や費用を要することなどから、資格取得が十分に進んでいないことが考えられる。 【スポーツ少年団育成経費】研修会への参加者数の確保が課題である。要因として、それぞれのチームに大会や練習等があり、指導者が参加しやすい研修日程の設定が難しいことが考えられる。										
今後の取組方針										
【スポーツ指導者育成経費】資格取得費補助制度の積極的な周知・活用促進により有資格指導者を確保・育成し、部活動の地域展開を円滑に進めるとともに、子どもたちが安全・安心で質の高い指導を受けられるスポーツ環境を整備する。 【スポーツ少年団育成経費】指導者が参加しやすい研修日程の設定や実践的な研修内容の実施により参加率を高め、適切な指導法や安全管理の徹底を通じて、子どもたちの心身ともに健全な育成を推進する。										
主な重点取組事業										
1	事業名		スポーツ指導者育成経費							
	担当課		スポーツ振興課		事業期間		平成 18 年度 ～ 令和 年度			
	事業概要・目的		少年スポーツ指導者の資質向上及び指導力の向上を図るため、研修会を開催する。また、子どもの発達段階に応じた適切な指導環境の充実を図るため、所定の資格を取得する市内の少年スポーツ指導者に対し、資格取得に要する経費の一部を補助する。							
	該当年度取組実績		・少年スポーツ指導者研修会・野球教室 参加者数：講演会 14人、野球教室 56人 ・指導者資格取得費補助金交付実績 13件 111,260円							
	成果	指標	補助金交付件数			単位	件			
		年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度				
		目標値	10	14	16	18				
		実績値	13							
		達成状況	達成している							
	決算額	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度				
		総事業費	221千円							
		うち市費	221千円							
(※職員人件費は含まない) (千円)										

重点的に取り組む事業 ⑧										
部活動の地域展開の受け皿となるクラブとの連携										
成果										
【総合型地域スポーツクラブ支援経費】 総合型地域スポーツクラブとは、多世代、多種目、多志向という特徴を持つ、地域住民によって自主的・主体的に運営されているスポーツクラブである。この総合型地域スポーツクラブについて、市内における設立及び運営を支援するため、補助金を交付した。その結果、新たに2つの総合型地域スポーツクラブが設立され、前年度の7クラブから9クラブに増加した。										
問題点とその要因										
【総合型地域スポーツクラブ支援経費】総合型地域スポーツクラブは令和7年度に2クラブ増加した。中学校部活動の地域展開に向けて、その受け皿の一つとして、さらなるクラブの設立や持続可能な運営体制の充実が求められている。クラブの設立や継続的な運営には、設立・運営に関するノウハウが必要であり、体制づくりに一定の時間を要することなどが課題である。										
今後の取組方針										
【総合型地域スポーツクラブ支援経費】総合型地域スポーツクラブの設立や体制充実を支援するとともに、設立・運営に関する情報提供を行うなど、部活動の地域展開も見据えた地域スポーツ環境の充実を図る。										
主な重点取組事業										
1	事業名		総合型地域スポーツクラブ支援経費							
	担当課		スポーツ振興課		事業期間		平成 17 年度 ～ 年度			
	事業概要・目的		地域におけるスポーツ活動の充実や中学校部活動の地域展開の受け皿として期待される総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援するため、補助金を交付する。地域住民が主体となったスポーツ活動の推進や多世代が交流できるスポーツ環境の充実を図り、誰もがスポーツに親しめる地域づくりを推進する。							
	該当年度取組実績		補助件数 2件（1件当たり150,000円、合計300,000円）							
	成果	指標	総合型地域スポーツクラブ会員数			単位	人			
		年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度				
		目標値	2,100	2,150	2,200	2,250				
		実績値	2,185							
		達成状況	達成している							
	決算額	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度				
		総事業費	300千円							
		うち市費	300千円							
		(※職員人件費は含まない) (千円)								

重点的に取り組む事業 ⑨

スポーツを推進し、活用する体制づくり

成果	
----	--

【スポーツ推進委員協議会活動経費】地域のスポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員相互の連携強化や資質向上を図るとともに、スポーツ推進委員協議会の活動を支援した。その結果、各校区で開催したニュースポーツ教室には延べ9,071人が参加し、市民が身近な地域でスポーツに親しむ機会の創出につながった。

問題点とその要因

【スポーツ推進委員協議会活動経費】地域のスポーツ活動に関し、参加者が固定化しており、裾野の拡大について課題がある。要因として、ニュースポーツ教室の内容や実施方法等が固定化していることが一因として考えられる。

今後の取組方針

【スポーツ推進委員協議会活動経費】地域におけるスポーツ活動の普及・振興に重要な役割を果たすスポーツ推進委員の活動を支援するとともに、事業内容の見直しを進め、地域・行政・各種団体が連携した推進体制を強化することで、これまでスポーツに親しむ機会の少なかった市民も含めたスポーツ実施率の向上を図る。

主な重点取組事業

事業名		スポーツ推進委員協議会活動推進経費																								
担当課		スポーツ振興課			事業期間		昭和 40 年度 ～				年度															
事業概要・目的		地域におけるスポーツ活動の推進を図るため、市が実施する各種大会等への協力やニュースポーツの普及活動を行うスポーツ推進委員の活動に要する経費を措置するとともに、専門委員会の開催や研修会への参加を通じてスポーツ推進委員の資質向上を図る。																								
該当年度取組実績		定例研修会、各専門委員会（総務、事業、研修）、理事会、研究大会等の開催 地域イベント、多団体イベントでのニュースポーツ指導の実施 市まなざしスポーツ・レクリエーション祭の開催																								
1 成果	指標	各校区開催ニュースポーツ教室参加者数				単位	人				<table><caption>実績値・目標値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7年度</td><td>9,071</td><td>9,050</td></tr><tr><td>R8年度</td><td>9,100</td><td>9,100</td></tr><tr><td>R9年度</td><td>9,150</td><td>9,150</td></tr><tr><td>R10年度</td><td>9,200</td><td>9,200</td></tr></tbody></table>	年度	実績値	目標値	R7年度	9,071	9,050	R8年度	9,100	9,100	R9年度	9,150	9,150	R10年度	9,200	9,200
	年度	実績値	目標値																							
	R7年度	9,071	9,050																							
	R8年度	9,100	9,100																							
	R9年度	9,150	9,150																							
R10年度	9,200	9,200																								
年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																						
目標値	9,050	9,100	9,150	9,200																						
実績値	9,071																									
達成状況	達成している																									
決算額	年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																					
	総事業費	6,182千円																								
	うち市費	6,182千円																								
	(※職員人件費は含まない) (千円)																									